

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証してください。実績の検証は法人ごとに行うものであり、法人間の比較を行うものではありません。

委員氏名 []

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1ブロック：1-1-1 より質の高い医療の提供～ 1-1-2 患者・住民サービスの向上

1-1-1 より質の高い医療の提供

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																							
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																																																																					
<p>(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備 項目番号01 高速X線CT装置(MDCT)、MRI等の高度先進医療機器を計画的に更新・整備を進めるため、中期計画期間中(平成26年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画(平成22年度策定)に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。</p>	<p>・平成23年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器(本体価格3,000万円以上)の更新・整備をした。この計画に基づき更新・整備を行った。 ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案し、特に中長期計画などと整合を図りながら整備することとした。</p> <p>代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機名</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I装置のアップグレード</td> <td>10年を経過し、磁石以外を更新し10年使用できるようにした</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房用X線撮影装置</td> <td>早期乳ガンの発見に使用し微細石灰化を鮮明に描写できる高精細画像の撮影ができる機器の導入</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>心臓診断に使用できる高性能な機器の更新</td> </tr> </tbody> </table> <p>更新・整備を実施した機器の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アプリケーションシステム</td> <td>H22.11</td> <td>15件</td> <td>17件</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>H23.3</td> <td>0件</td> <td>1,208件</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>H23.3</td> <td>0件</td> <td>1,665件</td> </tr> <tr> <td>MR I装置のアップグレード</td> <td>H24.3</td> <td>—</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>デジタル式乳房用X線撮影装置</td> <td>H24.3</td> <td>—</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H24.3</td> <td>—</td> <td>0件</td> </tr> </tbody> </table> <p>*平成22・23年度に更新整備した主な機器が対象</p> <p>主要検査機器の稼働実績件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PET(1台)</td> <td>外来</td> <td>793</td> <td>904</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>96</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MR(2台)</td> <td>外来</td> <td>6,973</td> <td>7,412</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1,440</td> <td>1,663</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">CT(2台)</td> <td>外来</td> <td>19,236</td> <td>21,798</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>4,856</td> <td>5,514</td> </tr> </tbody> </table>	機名	整備目的・用途等	MR I装置のアップグレード	10年を経過し、磁石以外を更新し10年使用できるようにした	デジタル式乳房用X線撮影装置	早期乳ガンの発見に使用し微細石灰化を鮮明に描写できる高精細画像の撮影ができる機器の導入	超音波診断装置	心臓診断に使用できる高性能な機器の更新	機器名	整備年度	H22	H23	3次元マッピングシステム・アプリケーションシステム	H22.11	15件	17件	ガンマカメラ装置	H23.3	0件	1,208件	X線TV装置	H23.3	0件	1,665件	MR I装置のアップグレード	H24.3	—	0件	デジタル式乳房用X線撮影装置	H24.3	—	0件	超音波診断装置	H24.3	—	0件	項目・年度	H21	H22	H23	PET(1台)	外来	793	904	入院	96	104	MR(2台)	外来	6,973	7,412	入院	1,440	1,663	CT(2台)	外来	19,236	21,798	入院	4,856	5,514	III	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 項目番号01 ・手術件数の増加に対応するため術関連機器の増設更新を図る。</p> <p>・現在使用中の放射線治療器の更新時期となり、昨年度、院内の専門委員会にて、近隣医療機関の機器保有状況、地域における放射線治療の必要性などを考慮し、地域がん診療連携拠点病院としてふさわしい高精度放射線治療器の導入を決定した。今年度は、平成24年度秋の本格稼働に向け、治療棟の建設、機器本体の購入、関係省庁への許認可手続きを進める。</p> <p>・その他医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめ、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進める。</p>	III	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 項目番号01 ・下肢牽引が必要な骨接合術が増加したことに伴い、牽引手術台を1台増設した。 ・手術が重複した際の運用に支障をきたしていた電気手術装置(電気メス)、超音波凝固切開装置(胸腔内組織の切離止血や郭清に使用)を各1台増設した。</p> <p>・高精度放射線治療機器の導入を決定した。平成24年度秋の稼働に向け、治療棟の建設に着手、機器本体の購入契約を締結し、関係省庁への許認可手続きを進めた。</p> <p>・医療機器整備委員会において各診療科の要望を取りまとめ、費用対効果、需要と医療技術の進歩などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入や更新を計画的に進めた。</p> <p>更新・整備を実施した機器の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電子内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H22</td> <td>20件/月</td> <td>20件/月</td> </tr> <tr> <td>負荷用エルゴメータシステム</td> <td>H22</td> <td>38件/月</td> <td>35件/月</td> </tr> <tr> <td>調剤支援システム</td> <td>H22</td> <td>毎日</td> <td>毎日</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H22</td> <td>20件/日</td> <td>20件/日</td> </tr> <tr> <td>放射線治療計画装置</td> <td>H23</td> <td>—</td> <td>44件/月</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成22・23年度に更新整備した主な機器が対象</p>	機器名	整備年度	H22	H23	電子内視鏡ファイリングシステム	H22	20件/月	20件/月	負荷用エルゴメータシステム	H22	38件/月	35件/月	調剤支援システム	H22	毎日	毎日	超音波診断装置	H22	20件/日	20件/日	放射線治療計画装置	H23	—	44件/月	III	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 項目番号01 高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、中期目標の期間における更新及び整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を進める。 医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。</p> <p>高額医療機器の更新実績 ○南飛騨地域における救急医療の基幹病院として急性期医療の診断等に活用するため、16列型マルチスライスX線CT装置を更新した。 ◆購入価格 20,916千円 ◆更新時期 平成24年2月 ◆急性期医療における重要な診断機器として活用するほか、低被ばくCT肺癌検診での活用を見込んでいる。</p>	III
機名	整備目的・用途等																																																																																												
MR I装置のアップグレード	10年を経過し、磁石以外を更新し10年使用できるようにした																																																																																												
デジタル式乳房用X線撮影装置	早期乳ガンの発見に使用し微細石灰化を鮮明に描写できる高精細画像の撮影ができる機器の導入																																																																																												
超音波診断装置	心臓診断に使用できる高性能な機器の更新																																																																																												
機器名	整備年度	H22	H23																																																																																										
3次元マッピングシステム・アプリケーションシステム	H22.11	15件	17件																																																																																										
ガンマカメラ装置	H23.3	0件	1,208件																																																																																										
X線TV装置	H23.3	0件	1,665件																																																																																										
MR I装置のアップグレード	H24.3	—	0件																																																																																										
デジタル式乳房用X線撮影装置	H24.3	—	0件																																																																																										
超音波診断装置	H24.3	—	0件																																																																																										
項目・年度	H21	H22	H23																																																																																										
PET(1台)	外来	793	904																																																																																										
	入院	96	104																																																																																										
MR(2台)	外来	6,973	7,412																																																																																										
	入院	1,440	1,663																																																																																										
CT(2台)	外来	19,236	21,798																																																																																										
	入院	4,856	5,514																																																																																										
機器名	整備年度	H22	H23																																																																																										
電子内視鏡ファイリングシステム	H22	20件/月	20件/月																																																																																										
負荷用エルゴメータシステム	H22	38件/月	35件/月																																																																																										
調剤支援システム	H22	毎日	毎日																																																																																										
超音波診断装置	H22	20件/日	20件/日																																																																																										
放射線治療計画装置	H23	—	44件/月																																																																																										
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III																																																																																					

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価															
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価														
<p>(2)長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者の再雇用制度を適正に運用する。 平成22年度に設置した「女性職員が継続して働き続けることができる病院づくり委員会」が行ったアンケートの調査結果を踏まえ、女性職員が働きやすい職場づくりに向けて、労務環境の改善について検討する。 <p>・平成22年度に設置した「女性職員が継続して働き続けることができる病院づくり委員会」が行ったアンケートの調査結果を踏まえ、女性職員が働きやすい職場づくりに向けて、労務環境の改善について検討する。</p> <p>・7:1看護体制(看護職員の二交代制)を維持する。</p> <p>・医師事務作業補助(医療ケア)、病棟・外来看護事務補助(病棟等看護ケア)等を配置拡充する。 [医療ケア:20人(平成22年度)→26人、病棟等看護ケア:17人(平成22年度)→20人]</p> <p>・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。</p>	<p>・年度当初看護師の定数562人に対して現員数は521人であり、長時間勤務やローテーション維持並びに年休の消化などに支障があり、この状態の改善に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用試験を4回実施するとともに、看護学校や各種ガイダンス等への参加、新聞の掲載等雇用確保のため積極的に働きかけを行った。 <p>・平成22年度に実施したアンケートの結果、病児保育等の要望が多く、平成27年度開設予定の新病棟内に設置予定ではあるが、女性職員が働きやすい職場づくりのため、試行という形でも平成24年度中の開始に向けて具体的に検討することとした。</p> <p>委員会設置と開催実績等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23/5</td> <td>第1回委員会開催(主な議題:子育てに関する規程について、院内保育施設「こぼと」について)</td> </tr> <tr> <td>23/9</td> <td>第2回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、ワークシェアリングについて)</td> </tr> <tr> <td>23/11</td> <td>第3回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、ワークシェアリングについて)</td> </tr> <tr> <td>24/3</td> <td>第4回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、看護師、医師の働き方について)</td> </tr> </tbody> </table> <p>・看護師人数(503→521人)の増員などで、7:1看護体制を3.6%上回る体制を維持できた。</p> <p>・医師事務作業補助(医療ケア)、病棟・外来看護事務補助(病棟等看護ケア)等を配置拡充した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師補助・看護補助体制の拡充状況 [医療ケア:38人、病棟等看護ケア:26人(平成23年度末)] <p>・看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。 長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。 	時期	内容	23/5	第1回委員会開催(主な議題:子育てに関する規程について、院内保育施設「こぼと」について)	23/9	第2回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、ワークシェアリングについて)	23/11	第3回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、ワークシェアリングについて)	24/3	第4回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、看護師、医師の働き方について)	III	<p>(2)長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02</p> <ul style="list-style-type: none"> コメディカル部門のうち放射線業務及び臨床検査業務について非常勤職員を配置し、夜間・休日の勤務における二交代制を導入する。これにより職員一人あたりにかかる負担が軽減され、労働環境の改善が見込まれる。 	<p>(2)長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 臨床検査業務について平成23年4月1日から非常勤職員3名を配置し、夜間・休日の勤務における二交代制を導入した。臨床検査科全体で年間3,817時間の時間外勤務縮減を達成した。 放射線業務については、高精度放射線治療機器の運用と合わせ二交代制勤務の導入に向け平成24年4月1日採用の職員6名を内定した。これにより時間外勤務の縮減の効果が期待される。 	III	<p>(2)長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02</p> <p>より質の高い医療を安定的に提供するため、医師・看護師職員をはじめとする医療職の必要数確保及び定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特に医師の勤務条件を緩和するため、医師確保と医師定着化の対策を実施する。 下呂温泉病院勤務医師や岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置した地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成 優秀な医師を確保するため、医師の給与面での優遇措置 岐阜県及び圏域市町村と連携した医師確保に向けた様々な取り組み <p>・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇</p> <p>・インターネットや医学専門誌などのメディアの積極的活用による医師の公募</p> <p>・県民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう非常勤医師の活用</p> <p>・看護師負担の軽減とともに高い患者サービスも可能な、7対1看護体制維持に必要な看護師数の確保</p>	<p>平成23年度は年俸制の雇用制度を構築。県及び下呂市と連携して医師確保活動を行い年俸制による医師2人を採用し、医師の必要数確保を図った。</p> <p>平成22年度に定年を迎えた病理医師を再雇用したが、平成23年度も引き続き雇用し、病理診断部門の体制維持を図った。</p> <p>・医師募集エージェントへの登録(インターネットの活用)4社に募集情報を登録</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門求人情報誌への広告掲載1誌 医療専門の人材派遣事業者への登録など幅広く医師確保活動を実施した。 <p>面接実施 2名 採用(平成24年4月)1名</p> <p>非常勤医師による常勤医不在の診療科(小児科、耳鼻いんこう科、皮膚科、眼科)及び常勤医不足の診療科への支援により、地域県民ニーズに対応した医療の確保を図った。</p> <p>診療依頼延べ回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,689回</td> <td>2,077回</td> </tr> </tbody> </table> <p>法人化のメリットである弾力的な職員採用を最大限に行い、H23年度中に</p> <p>【正職員】助産師1名、看護師11名(うち2名中途採用)</p> <p>【非常勤】看護師4名、准看護師1名を採用し、7対1看護体制の維持に必要な看護師を確保した。</p>	H22	H23	1,689回	2,077回	III
時期	内容																					
23/5	第1回委員会開催(主な議題:子育てに関する規程について、院内保育施設「こぼと」について)																					
23/9	第2回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、ワークシェアリングについて)																					
23/11	第3回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、ワークシェアリングについて)																					
24/3	第4回委員会開催(主な議題:病児保育の実施について、看護師、医師の働き方について)																					
H22	H23																					
1,689回	2,077回																					

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																						
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																					
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																				
<p>・院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育の実施に向け時間延長等を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。</p> <p>・ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。</p>	<p>・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替指導を徹底した。</p> <p>代休等取得状況 (件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">代休取得</td> <td>1日代休</td> <td>15</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>半日代休</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">週休日の 振り替え</td> <td>1日振替</td> <td>223</td> <td>528</td> </tr> <tr> <td>半日振替</td> <td>234</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成13年から岐阜県総合医療センター保育施設運営協議会を設置し、医療センターに勤務する職員(非常勤職員含む)の保育事業を実施している。平成24年2月1日からは、24時間保育の受け入れを開始した。</p> <p>・通常保育時間 7:45～19:00 (延長保育時間 7:00～22:30)</p> <p>・院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 19人 最大預かり児童数 44人 月平均29.8人</p> <p>院内保育所の運営状況 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>36人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ハラスメント防止に関する外部機関作成のパンフレットを配布し、周知を図った。</p> <p>・総合相談センターを設置し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化した。</p> <p>・総合受付にコンシェルジュを設置し、患者相談を含む各種問い合わせに対応できる態勢を整備した。</p> <p>・患者や家族から各種相談を受け付けた(相談内容:がん相談(一般、セカンドオピニオン、退院調整)、がん以外(なんでも相談、意見・苦情、セカンドオピニオン外来、退院調整)。</p> <p>平成23年度実績件数</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>がん相談</td> <td>1,158</td> </tr> <tr> <td> がん相談支援</td> <td>246</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td>865</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td>6,025</td> </tr> <tr> <td> なんでも相談 (意見・苦情)</td> <td>192 (64)</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td>5,818</td> </tr> <tr> <td>医療サービス課</td> <td>5,638</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()の数値は、なんでも相談の内数。</p>	区 分		H22	H23	代休取得	1日代休	15	12	半日代休	3	5	週休日の 振り替え	1日振替	223	528	半日振替	234	163		H22	H23	入所者数	36人	44人	保育士数	8人	8人	がん相談	1,158	がん相談支援	246	セカンドオピニオン	47	退院調整室	865	がん以外の相談	6,025	なんでも相談 (意見・苦情)	192 (64)	セカンドオピニオン	15	退院調整室	5,818	医療サービス課	5,638		<p>・院内保育所については、近隣病院の運営状況を参考に保育対象年齢の見直し、病児保育、夜間保育の早期実現を目指す。また、それに対応できるだけの保育士数を確保する。</p>		<p>・院内保育所については、平成23年10月1日から病児保育を開始した。また、夜間保育のニーズを把握するために全看護職員を対象とした調査を実施した。</p> <p>院内保育所の運営状況 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>37人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>10人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	入所者数	37人	44人	保育士数	10人	9人	
区 分		H22	H23																																																									
代休取得	1日代休	15	12																																																									
	半日代休	3	5																																																									
週休日の 振り替え	1日振替	223	528																																																									
	半日振替	234	163																																																									
	H22	H23																																																										
入所者数	36人	44人																																																										
保育士数	8人	8人																																																										
がん相談	1,158																																																											
がん相談支援	246																																																											
セカンドオピニオン	47																																																											
退院調整室	865																																																											
がん以外の相談	6,025																																																											
なんでも相談 (意見・苦情)	192 (64)																																																											
セカンドオピニオン	15																																																											
退院調整室	5,818																																																											
医療サービス課	5,638																																																											
	H22	H23																																																										
入所者数	37人	44人																																																										
保育士数	10人	9人																																																										

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>・「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する警備強化を図る。</p>	<p>・平成23年10月に、個人情報保護と併せて院内研修会を実施した。 テーマ：「院内暴力の実態と対応方法」 開催日：平成23年10月3日（月） 講師：NKS J リスクマネジメント（株） 上席コンサルタント 寺田暁史</p>							
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	H22 検証 結果 III	検証 結果

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																						
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																				
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																																					
<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>項目番号 03</p> <p>岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	<p>・平成23年度医師の研修派遣者数実績3名 米国（カルフォルニア大学サンディエゴ校） 静岡県（静岡県立こども病院） 神奈川県（横浜労災病院）</p> <p>・専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・医学経営革新のための訪米研修 ・第14回世界肺癌学会 ・ACC米国学会 ・欧州核医学会議 ・米国心臓協会学術集会 ・アジア心臓血管外科学会 ・カテーテルアブレーション・ライブ・セミナー 他 </div> <p>医師の研修派遣・受入実績人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>1人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>6人</td> <td>8人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	派遣	1人	3人	受入	6人	8人	III	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>項目番号 03</p> <p>・名古屋大学、名古屋市立大学とは従来どおり関連する各科の医師の教育研修や連携を継続する。</p> <p>・岐阜県と岐阜大学が中心となって設立した「県医師育成・確保コンソーシアム」に昨年度に引き続き参加する。県内の主要医療機関と連携することで質の高い研修プログラムを提供し、優れた医師の育成、確保を目指す。</p>	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市立大学から1年間にわたり臨床研修医2名を受け入れ、研修を実施した。 ・平成23年8月1日に東海テレビアナウンス局長を講師として、医師を対象とした「コミュニケーション能力の養成講座」を開催した。（参加者40名） ・高度な医療を提供できる医師の養成のため各種学会、研修会等に参加する医師に関して、旅費等の経費負担について支援し、専門性の向上を推進した。 <p>学会参加者110名（参加回数：240回）</p> <p>海外学会への派遣実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣用務</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>欧州心臓学会会議2011 第15回精神医学の世界会議</td> <td>フランス・パリ アルゼンチン・ブエノスアイレス</td> </tr> </tbody> </table> <p>「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」の主催する「指導医養成講座」に2名を受講させ、臨床研修体制の強化を図った。</p> <p>医師の研修派遣・受入実績人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>328人</td> <td>304人</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>26人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table>	派遣用務	派遣先	欧州心臓学会会議2011 第15回精神医学の世界会議	フランス・パリ アルゼンチン・ブエノスアイレス		H22	H23	派遣	328人	304人	受入	26人	20人	III	<p>(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の実習による優れた医師の養成</p> <p>項目番号 03</p> <p>岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携により多くの臨床研修医の受け入れと指導体制の充実を図り、特に地域医療を志す医師の養成を行う。</p> <p>協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修（1ヶ月）」について他病院の臨床研修医の受入れを行った。</p> <p>医師の受入実績人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>県総合医療センター</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9名</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	H22	H23	岐阜大学医学部附属病院	3名	3名	県総合医療センター	4名	4名	岐阜市民病院	2名	4名	合計	9名	11名	III
	H22	H23																																										
派遣	1人	3人																																										
受入	6人	8人																																										
派遣用務	派遣先																																											
欧州心臓学会会議2011 第15回精神医学の世界会議	フランス・パリ アルゼンチン・ブエノスアイレス																																											
	H22	H23																																										
派遣	328人	304人																																										
受入	26人	20人																																										
病院名	H22	H23																																										
岐阜大学医学部附属病院	3名	3名																																										
県総合医療センター	4名	4名																																										
岐阜市民病院	2名	4名																																										
合計	9名	11名																																										
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III																																				

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																						
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																					
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																																				
<p>(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進</p> <p>項目番号 04</p> <p>より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p>	<p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を継続して確保している。</p> <p>・専門看護師数</p> <p>小児看護専門看護師 H22:0→H23:1名 がん看護専門看護師 H22:0→H23:1名</p> <p>・認定看護師数</p> <p>がん化学療法看護認定看護師 1名 がん性疼痛看護認定看護師 1名 感染管理認定看護師 H22:1名→H23:2名 救急看護認定看護師 1名 小児救急看護認定看護師 1名 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名 皮膚・排泄ケア認定看護師 3名 新生児集中ケア認定看護師 H22:0→H23:1名 (平成23年度認定登録:2名)</p> <p>研修実績 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>[長期] ・がん化学療法 H22:0→H23:1 ※平成24年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H22:5→H23:5 ・看護教員養成講習会等 H22:2→H23:1 ・医療安全研修 H22:2→H23:5</td> </tr> <tr> <td>学会等参加</td> <td>・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ H22:52→H23:98名</td> </tr> </tbody> </table> <p>認定看護師・専門看護師数 (各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">分野</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td></td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>9名</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td></td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td></td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>9名</td> <td>13名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内 容	認定看護師	[長期] ・がん化学療法 H22:0→H23:1 ※平成24年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H22:5→H23:5 ・看護教員養成講習会等 H22:2→H23:1 ・医療安全研修 H22:2→H23:5	学会等参加	・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ H22:52→H23:98名	区分	分野	H22	H23	人数	人数	認定	がん化学療法	1名	1名	がん性疼痛	1名	1名	感染管理	1名	2名	救急看護	1名	1名	小児救急	1名	1名	摂食・嚥下障害	1名	1名	皮膚・排泄ケア	3名	3名	新生児集中ケア		1名		計	9名	11名	専門	小児看護		1名	がん看護		1名	合計		9名	13名	IV	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進</p> <p>項目番号 04</p> <p>・認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修を計画的に実施する。</p> <p>・認定看護師教育については、昨年度に「救急看護」の講義実習に参加した看護師1名に対し、確実に資格取得できるよう支援を行う。また、「糖尿病認定看護師」、「手術室認定看護師」、「脳卒中認定看護師」について希望者を募り、資格取得のための講義・実習に参加させるよう計画している。</p> <p>・専門看護師については、「がん看護専門看護師」資格を1名が取得予定のため、認定看護師同様、確実に資格取得できるよう支援を行う。</p>	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進</p> <p>・認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修を計画的に実施した。</p> <p>・「救急看護認定看護師」については、1名が資格を取得した。</p> <p>・「糖尿病認定看護師」、「手術室認定看護師」は該当なし。</p> <p>・「脳卒中リハビリテーション認定看護師」、「慢性心不全認定看護師」については、研修機関に合格したため平成24年度に研修参加を予定している。</p> <p>・専門看護師については、「がん専門看護師」試験に合格し資格を取得した。</p>	III	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進</p> <p>項目番号 04</p> <p>患者及びその家族に接する機会が多い看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、認定看護師及び専門看護師の資格取得を促進する。</p> <p>今後は、緩和ケアや摂食、嚥下障害看護の認定看護師取得を目指し、平成23年度に受験予定である。</p> <p>また、23年度は看護教員養成講習会が県内で開催されるため、看護師教育とより連携するために参加させる。</p>	<p>◆認定看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> 脳卒中リハビリテーション認定看護師の資格取得 1名 H24緩和ケア認定看護師の教育課程入学試験を受験、入学決定1名。 <p>◆看護教員養成講習会 1名参加 (6月9日から3月8日まで)</p> <p>◆その他の専門研修参加</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症患者の看護 4名 家族ケア 3名 がん性疼痛緩和ケア 3名 災害看護 5名 呼吸ケア 4名 周産期医療と看護 1名 糖尿病看護 1名 <p>◆今後の予定</p> <p>臨床指導者講習会参加と緩和ケア認定看護師資格取得を目指す。</p>	III
項目	内 容																																																											
認定看護師	[長期] ・がん化学療法 H22:0→H23:1 ※平成24年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 H22:5→H23:5 ・看護教員養成講習会等 H22:2→H23:1 ・医療安全研修 H22:2→H23:5																																																											
学会等参加	・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ H22:52→H23:98名																																																											
区分	分野	H22	H23																																																									
		人数	人数																																																									
認定	がん化学療法	1名	1名																																																									
	がん性疼痛	1名	1名																																																									
	感染管理	1名	2名																																																									
	救急看護	1名	1名																																																									
	小児救急	1名	1名																																																									
	摂食・嚥下障害	1名	1名																																																									
	皮膚・排泄ケア	3名	3名																																																									
	新生児集中ケア		1名																																																									
	計	9名	11名																																																									
専門	小児看護		1名																																																									
	がん看護		1名																																																									
合計		9名	13名																																																									
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																																																						
H22検証結果 III			H22検証結果 III			H22検証結果 III																																																						

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																										
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																									
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																								
<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>項目番号 05</p> <p>診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん診療に従事する診療放射線技師研修 放射線治療の品質管理高度専門教育セミナー 診療放射線技師実習施設指導者講習会 PET研修セミナー その他各種学会、研修会等への参加 <p>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</p> <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 感染制御認定臨床微生物検査技師 その他各種学会、研修会等への参加 <p>【薬剤師】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん専門薬剤師 感染制御専門薬剤師 糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 その他各種学会、研修会等への参加 <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓リハビリテーション指導士 日本摂食嚥下リハビリテーション指導士 3学会合同呼吸療法認定士 日本糖尿病療養指導士 認定理学療法士や専門理学療法士等の資格取得の促進 その他各種学会、研修会等への参加 <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 	<p>IV</p> <p>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</p> <p>特に、各部門では診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <p>主な参加講習会等</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> マンモグラフィ技術講習会 CTビギナーズセミナー 日本定位放射線治療学会 日本放射線腫瘍学会 日本核医学会 <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床細胞学会 日本輸血・細胞治療学会 臨床ゲノム医療学会 中部地区生理検査研修会 日本心エコー学会 <p>【薬剤師】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本TDM学会学術大会 日本病院薬剤師会実務研修会 日本薬品情報学会総会 日本薬学東海支部合同学術会議 医療薬学フォーラム がん専門薬剤師集中教育講座 <p>【リハビリテーション科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 日本高次脳障害学会夏期教育研修 岐阜呼吸管理研究会 摂食・嚥下障害セミナー <p>【管理栄養士】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本静脈経腸栄養学会 日本病態栄養学会年次学術集会 全国自治体病院協議会栄養部会研修会 	<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>項目番号 05</p> <p>最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、厚生労働省及び岐阜県が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。</p> <p>【薬剤部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士 がん専門薬剤師 糖尿病療養指導士 日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師 <p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者養成講習会 乳房撮影ガイドライン・精査管理研修会 がん医療における放射線治療の品質管理高度専門教育セミナー 放射線治療計画にかかわる指導者研修会 <p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p> <p>また、職員の技術研鑽のため、各種行政機関、各種学術団体等の主催する学会、研修会等への参加を支援する。</p> <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 感染制御認定臨床微生物検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 各種二級臨床検査士 その他各種学会、研修会への参加 <p>院内の人員と業務内容を考慮し、必要とされる資格を厳選した上で、希望者を募り、各種認定資格取得のための支援、資格維持更新のための支援を行う。</p>	<p>III</p> <p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>項目番号 05</p> <p>薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。</p> <p>最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、平成22年度に引き続き厚生労働省、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行った。</p> <p>【薬剤部】</p> <table border="1"> <tr> <td>栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>がん専門薬剤師</td> <td>認定学会への参加等資格取得への支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>糖尿病療養指導士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師</td> <td></td> </tr> </table> <p>【中央放射線部】</p> <table border="1"> <tr> <td>PET使用施設に必要なPET研修</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>マンモグラフィ技術更新講習会</td> <td>1名受講</td> </tr> <tr> <td>高精度放射線治療の基礎知識再構築</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>高精度放射線治療導入に伴うトレーニング</td> <td>ベリンにて研修2名 (医師1名、技師1名) 参加</td> </tr> <tr> <td>放射線治療計画にかかわる指導者研修会</td> <td>1名参加</td> </tr> <tr> <td>放射線治療従事者の新人研修</td> <td>2名参加</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>各種セミナー、放射線技師基礎講習に参加</td> </tr> </table> <p>【臨床検査科】</p> <table border="1"> <tr> <td>有機溶剤作業主任者資格</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>細胞検査士</td> <td>受験 1名 (一次試験合格)</td> </tr> <tr> <td>学会参加</td> <td>4学会 11人</td> </tr> <tr> <td>研修会参加</td> <td>12研修会 19人</td> </tr> <tr> <td>その他 (院内)</td> <td>13研修、研究会 27人</td> </tr> </table> <p>【リハビリテーション科】</p> <table border="1"> <tr> <td>日本心臓リハビリテーション学会</td> <td>PT5名参加、その内2名がH24年度、心臓リハビリテーション指導士認定試験受験予定</td> </tr> <tr> <td>呼吸介助手技術講習会</td> <td>PT・OT各1名受講</td> </tr> <tr> <td>終末期・緩和ケア作業療法研究会</td> <td>OT1名参加</td> </tr> </table> <p>【栄養管理部】</p> <table border="1"> <tr> <td>日本糖尿病療養指導士機構認定の糖尿病療養指導士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム (NST) 専門療養士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>病態栄養専門師</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> </table>	栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士	資格取得 1名	がん専門薬剤師	認定学会への参加等資格取得への支援を行った。	糖尿病療養指導士		日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師		PET使用施設に必要なPET研修	1名参加	マンモグラフィ技術更新講習会	1名受講	高精度放射線治療の基礎知識再構築	2名参加	高精度放射線治療導入に伴うトレーニング	ベリンにて研修2名 (医師1名、技師1名) 参加	放射線治療計画にかかわる指導者研修会	1名参加	放射線治療従事者の新人研修	2名参加	その他	各種セミナー、放射線技師基礎講習に参加	有機溶剤作業主任者資格	資格取得 1名	細胞検査士	受験 1名 (一次試験合格)	学会参加	4学会 11人	研修会参加	12研修会 19人	その他 (院内)	13研修、研究会 27人	日本心臓リハビリテーション学会	PT5名参加、その内2名がH24年度、心臓リハビリテーション指導士認定試験受験予定	呼吸介助手技術講習会	PT・OT各1名受講	終末期・緩和ケア作業療法研究会	OT1名参加	日本糖尿病療養指導士機構認定の糖尿病療養指導士	資格取得 1名	栄養サポートチーム (NST) 専門療養士	資格取得 1名	病態栄養専門師	資格取得 1名	<p>III</p> <p>コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。</p>
栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士	資格取得 1名																																															
がん専門薬剤師	認定学会への参加等資格取得への支援を行った。																																															
糖尿病療養指導士																																																
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師																																																
PET使用施設に必要なPET研修	1名参加																																															
マンモグラフィ技術更新講習会	1名受講																																															
高精度放射線治療の基礎知識再構築	2名参加																																															
高精度放射線治療導入に伴うトレーニング	ベリンにて研修2名 (医師1名、技師1名) 参加																																															
放射線治療計画にかかわる指導者研修会	1名参加																																															
放射線治療従事者の新人研修	2名参加																																															
その他	各種セミナー、放射線技師基礎講習に参加																																															
有機溶剤作業主任者資格	資格取得 1名																																															
細胞検査士	受験 1名 (一次試験合格)																																															
学会参加	4学会 11人																																															
研修会参加	12研修会 19人																																															
その他 (院内)	13研修、研究会 27人																																															
日本心臓リハビリテーション学会	PT5名参加、その内2名がH24年度、心臓リハビリテーション指導士認定試験受験予定																																															
呼吸介助手技術講習会	PT・OT各1名受講																																															
終末期・緩和ケア作業療法研究会	OT1名参加																																															
日本糖尿病療養指導士機構認定の糖尿病療養指導士	資格取得 1名																																															
栄養サポートチーム (NST) 専門療養士	資格取得 1名																																															
病態栄養専門師	資格取得 1名																																															

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																			
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																		
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																	
<p>(6) EBMの推進 項目番号06 各種診療ガイドライン等に基づいて作成したクリニカルパスに対して、他病院とのベンチマークを行い、DPCに対応したクリニカルパスに改定する。また、病棟訪問により意見交換を行うなど作成されたクリニカルパスを検証することによりクリニカルパスの最適化、医療の質の改善・向上を図る。また、クリニカルパス推進活動の一環として関係部門のスタッフが参加するクリニカルパス大会を実施し、新規クリニカルパスの紹介、改訂クリニカルパスの報告、DPC関連データの報告などを行う。</p>	<p>・クリニカルパスの見直し・改定を実施した。 平成24年1月にクリニカルパス学習会を開催し、その後クリニカルパスを整理し、DPCに対応したクリニカルパスを検証・整理した。 ・診療科別クリニカルパス数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>クリニカルパス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table> <p>クリニカルパス種類数・使用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>304件</td> <td>303件</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>13,899人</td> <td>13,798人</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>8,337件</td> <td>8,363件</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>60.0%</td> <td>60.6%</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	クリニカルパス数	外科	36	小児科	46	産婦人科	34	整形外科	33	眼科	32	その他	123		H22	H23	種類数	304件	303件	入院患者数	13,899人	13,798人	使用数	8,337件	8,363件	適用率	60.0%	60.6%	III	<p>(6) EBMの推進 項目番号06 ・色々な分野において新たに作成された診療ガイドラインに基づいたクリニカルパスを作成し治療の標準化を目指す。</p>	<p>(6) EBMの推進 ・各診療科において診療ガイドラインを整備した。また、クリニカルパスも145件と充実した。</p> <p>診療科別クリニカルパスの内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科名</th> <th>パス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>呼吸器科</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>外科・消化器外科</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>クリニカルパス種類数・使用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>143種</td> <td>145種</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>5,597件</td> <td>5,702件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ EBM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) に基づいた医療をめざし、臨床指標 (クリニカルインディケータ) を整理し、ホームページ上で公開した。</p>	診療科名	パス数	産婦人科	20	整形外科	31	呼吸器科	18	外科・消化器外科	26	その他	50		H22	H23	種類数	143種	145種	使用数	5,597件	5,702件	III	<p>(6) EBMの推進 項目番号06 学会の診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパス (入院患者に対する治療の計画を示した日程表) 積極的な活用に取り組むことにより、医療の質の改善、向上及び標準化を図り、科学的根拠に基づいた医療 (EBM: Evidence Based Medicine) を提供する。 また、電子カルテを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、医療水準の向上及び診療内容の標準化を進める。</p> <p>高齢の入院患者の割合が高いことなど、クリニカルパスの作成・適用が難しい現状においても、パスの活用に取り組んだ。 ◆整形外科領域 完成したパス：9件 現在は適用されていないが、今後活用の取組を行っていく。 ◆産婦人科領域 パス作成数：13件 ほぼ100%適用 H24年1月の産婦人科再開により新しい産婦人科医師のもと診療が開始され、パス内容の確認、変更を行い改善を図った。 ◆新生児領域 パス作成数：外来1件、入院10件 ほぼ100%適用</p> <p>また、電子カルテ運用においては、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用に努めた。</p>	III
診療科	クリニカルパス数																																																								
外科	36																																																								
小児科	46																																																								
産婦人科	34																																																								
整形外科	33																																																								
眼科	32																																																								
その他	123																																																								
	H22	H23																																																							
種類数	304件	303件																																																							
入院患者数	13,899人	13,798人																																																							
使用数	8,337件	8,363件																																																							
適用率	60.0%	60.6%																																																							
診療科名	パス数																																																								
産婦人科	20																																																								
整形外科	31																																																								
呼吸器科	18																																																								
外科・消化器外科	26																																																								
その他	50																																																								
	H22	H23																																																							
種類数	143種	145種																																																							
使用数	5,597件	5,702件																																																							
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																																																			
	I22 検証 結果	III		I22 検証 結果	III		I22 検証 結果	III																																																	

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																	
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																															
<p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号07 平成22年度に改定した医療安全管理マニュアルを必要に応じ見直し、部署別医療事故防止対策の徹底を図る。また、事故調査委員会において、医療事故の再発防止のため、リスクを回避するための方策を検討し、改善方策の共有化、安全管理に関する研修を充実させるなど、事故予防の徹底と予防意識の醸成を図る。</p>	<p>・医療安全管理マニュアルの総見直しを行い新しく「医療安全管理マニュアル」を全部署に配備した。 ・「医療安全マニュアル」ポケット版を作成し全職員に配付し携帯出来るようにした。 ・「医療安全マニュアル」委託職員用を作成し委託職員に配付し指導した。 ・医療安全意識醸成のため、職員を対象とした医療安全研修会を16回実施した。 総参加者数は1,158名であった。 ・月次でインシデント・アクシデントの統計を取り、看護師長会や管理会議へ報告し、注意喚起した。 ・インシデント（レベル3aまで）、アクシデント（レベル3b～）の発生状況 平成23年度よりレベル3はa, bに分割して記載</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>327件</td> <td>286件</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>1,003件</td> <td>1,013件</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>713件</td> <td>849件</td> </tr> <tr> <td>レベル3a</td> <td rowspan="2">152件</td> <td>178件</td> </tr> <tr> <td>レベル3b</td> <td>54件</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>1件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>—</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>2,043件</td> <td>2,326件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>153件</td> <td>58件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,196件</td> <td>2,384件</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	レベル0	327件	286件	レベル1	1,003件	1,013件	レベル2	713件	849件	レベル3a	152件	178件	レベル3b	54件	レベル4	1件	2件	レベル5	—	2件		H22	H23	インシデント	2,043件	2,326件	アクシデント	153件	58件	合計	2,196件	2,384件	III	<p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号07 ・医療の質および安全の確保のため毎月医療安全管理委員会を開催し、インシデント、アクシデントレポートの集積分析を行う。その分析結果を活用して医療安全部、医療安全管理委員会の活動を通じて全職員に周知啓蒙し、組織横断的に積極的に医療安全について働きかけを行う。</p>	<p>(7) 医療安全対策の充実</p> <p>・インシデント・アクシデントレポートの集積分析を毎月行い、医療安全部会で検討し、医療安全管理委員会の活動を通じて全職員に周知した。インシデントレポートは平成22年度166件/月、平成23年度220件/月と報告件数の増加がみられている。医療安全管理委員会では、医療安全対策に重要なインシデント事例（3～6事例/月）の検討を行った。</p>	III	<p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号07 ○チーム医療の推進 あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、内科系医師・外科系医師・看護師などの構成員によるチーム医療をより一層推進する。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化 院内の医療安全対策室において、医療総合情報システムを活用し、インシデント及びアクシデントに関する情報の収集及び分析に努め、リスクを回避する方策の立案や、対策実施後の評価等を定期的に討議し、医療事故の再発防止及び予防の徹底を図る。 また、分析結果及び改善方策について、医療総合情報システムにより情報の共有化を図る。</p>	<p>○チーム医療の推進 医療安全管理委員会：12回開催 医療安全対策室会議：12回開催 医療安全対策室小会議：36回開催 医療安全推進担当者会議：6回開催 看護事故防止委員会：11回開催 褥瘡対策委員会：11回開催 看護部スキンケア委員会：12回開催</p> <p>その他、インシデント・アクシデント発生時の対応など医療安全対策室専従看護師が必要性により、各部門との情報収集・意見交換、連絡・調整・相談などを日々実施した。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化 ◆リスクマネジメントシステム SafeProducer を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめとインシデントレベル2及び3（事故報告書）について各会議にて分析・検討し対策立案を行った。 ・医療安全管理委員会で報告・検討した事例 インシデントレベル3 10件 苦情に対する関与その他 7件 対策を検討し承認した事項 11件 インシデント・アクシデント以外の検討事項 10件 医療安全管理マニュアルの見直し整備 3件 決定事項の遵守状況については、医療安全対策室専従看護師（医療安全管理者）が各部門をラウンド・電子カルテの確認を行い報告した。 ・「医療安全対策室便り」の発行 決定事項について周知徹底するため、「医療安全対策室便り」を24回発行。</p> <p>インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>896件</td> <td>929件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>7件</td> <td>10件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>903件</td> <td>939件</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆各メディアの活用：日本医療機能評価機構・PMDA・週間医学会新聞・NKS J・看護協会等から、医療安全情報を収集し、サイボウズ（院内グループウェア）を利用し職員に周知した。 医療安全対策室便りの発行数：24回 各メディアからの医療安全情報：10回 その他必要時、サイボウズの掲示板にコメントを掲載した。</p>		H22	H23	インシデント	896件	929件	アクシデント	7件	10件	合計	903件	939件	III
	H22	H23																																																					
レベル0	327件	286件																																																					
レベル1	1,003件	1,013件																																																					
レベル2	713件	849件																																																					
レベル3a	152件	178件																																																					
レベル3b		54件																																																					
レベル4	1件	2件																																																					
レベル5	—	2件																																																					
	H22	H23																																																					
インシデント	2,043件	2,326件																																																					
アクシデント	153件	58件																																																					
合計	2,196件	2,384件																																																					
	H22	H23																																																					
インシデント	896件	929件																																																					
アクシデント	7件	10件																																																					
合計	903件	939件																																																					
			<p>・専従の医療安全管理者、リスクマネージャーの活動を支援して計画的に医療安全に関する活動を充実させる。</p> <p>・院内研修会（外部講師や職員によるシンポジウム等）を年2回行う。</p>	<p>・マニュアルの改訂などを通して全職員に注意喚起を周知した。内容によっては現場の負担を軽減させつつ、患者の安全を確保するための具体的な方法を提示するために小委員会を結成し対応した。</p> <p>・医療安全管理者は、現場をラウンドするなど積極的に情報収集を行い、医療安全部のスタッフが連携して問題解決に取り組んでいる。</p> <p>・幹部会議において早期にインシデント、アクシデントについての問題点や解決策などを協議している。</p>																																																			

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院											
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価										
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価									
				<ul style="list-style-type: none"> 看護部では、リスクマネージャーに対し、積極的に研修会を開催し、活動を支援している。 医療安全研修会を開催し、内容を録画のうえ各部署で伝達講習を行った。 <p>【医療安全研修会開催実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月29日</td> <td>せん妄状態の早期発見と対応について ～それぞれの立場でのせん妄患者の対応と実際～</td> <td>146人</td> </tr> <tr> <td>2月2日</td> <td>医療メデイエーション ～日常診療から医療紛争まで～</td> <td>328人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	テーマ	参加人数	9月29日	せん妄状態の早期発見と対応について ～それぞれの立場でのせん妄患者の対応と実際～	146人	2月2日	医療メデイエーション ～日常診療から医療紛争まで～	328人		<p>○安全管理に関する研修体制の充実 全職員が患者の安全を最優先にして万全な対応を行うことができるように、情報の収集・分析による医療安全対策の徹底及び医療安全文化の醸成など安全管理に関する研修体制を整備する。 平成23年度も院内全職員を対象にした医療安全推進大会を実施する。</p>	<p>○医療安全管理に関する研修体制の充実 医療安全全職員研修会：3回 定期的研修会：10回 インシデント・アクシデントより 臨時研修会：4回 新人・看護補助者対象研修会：6回 BLS研修会：3回 医療ガス安全講習会：2回</p>	
開催日	テーマ	参加人数															
9月29日	せん妄状態の早期発見と対応について ～それぞれの立場でのせん妄患者の対応と実際～	146人															
2月2日	医療メデイエーション ～日常診療から医療紛争まで～	328人															
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III									

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価
<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>院内感染対策マニュアルを基に各部署等における予防対策や日々の感染防止策の遵守状況を定期的に観察・指導(院内巡視)するとともに感染防止委員会や感染症対策部を中心に感染防止訓練及び研修会(年2回以上)を行い、院内感染対策マニュアルの周知徹底・啓発を図ること及び必要に応じ改定(ローリング)を行う。</p>	<p>・9月より感染防止委員会の実働部隊としてICT(Infection control team)を結成し、マニュアルに沿った感染防止対策を推進するため、毎月1～4回ICTにて各部署の巡視を行い、指導・教育を行った。</p> <p>・感染防止委員会を毎月第3木曜日に開催し、感染症情報、抗菌薬使用状況、標準予防策の遵守状況について報告を行うとともにインフルエンザ対策、結核接触者健診など適時な議題についても報告を行った。</p> <p>・ICTが中心になり感染対策マニュアルを見直し、マニュアルの全改訂を行い感染防止委員会の承認を得たのち、院内の各部署へ配布した。</p> <p>・感染防止研修会の開催 全職員を対象とした研修を年4回開催したほか、ICTによる出張学習会、看護師を対象とした学習会などを実施。延べ2,492名が参加した。</p>	III	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>・感染認定看護師2名(うち1名専従)を中心に各部署のリンクナースに働きかけ共同で感染防止対策を行う。</p> <p>・毎金曜日にICT(Infection Control Teamの略、感染防止対策チーム)ラウンドを実施し、院内各部署を巡回し、改善指導を行う。</p> <p>・院内職員及び患者を対象とした手洗いキャンペーンを実施する。</p> <p>・インフルエンザなど感染症患者が発生した場合には、感染防止委員会の委員で構成されたICTを中心に、すみやかに対応を協議し、感染拡大の防止に努める。</p>	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>・ICT(Infection Control Teamの略、感染防止対策チーム)と各部署から選抜されたリンクナース17名が協働し、感染対策を実施した。</p> <p>・月1回のICT会議、週1回の抗菌薬適正使用カンファレンスやラウンドを実施し、医師や病棟スタッフに対し教育や指導、アドバイス、情報交換などを行い感染対策の強化を図った。</p> <p>・11月9日に手洗いキャンペーンを実施し、院内職員・患者合わせて174名が参加した。</p> <p>・感染対策マニュアルを全面改定し、アウトブレイクの対応やMRSAやインフルエンザなど病原体の項目を追加し、より活用しやすいものとした。</p> <p>・アウトブレイクや流行性疾患患者・職員を確認した場合、ICTが早急に対応できる体制を強化した。</p>	III	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>院内に複数の医療職から構成する院内感染対策室を設置し、職員に対する院内防止対策(マニュアル)の周知徹底・啓発を行うとともに、定期的に感染対策委員会を開催し、感染の状況や感染対策活動の評価等を行う。</p> <p>また、重大な院内感染が発生した場合には、医療事故と同様に、原因の分析・再発防止策の立案と県民に対する適正な情報提供に努める。</p> <p>平成23年度も引き続き、抗生剤の適正使用について及び全職種間での手指衛生の徹底について、重点的に取り組む。</p>	<p>○感染防止技術の推進</p> <p>・院内感染防止マニュアルの改訂 標準予防策と感染経路別予防策マニュアルを改訂した。</p> <p>○感染管理教育</p> <p>・新任看護師研修(年4回、対象12名)</p> <p>・看護補助職員研修(年4回、対象26名)</p> <p>・全体研修(5/17:102名、3/11:57名)</p> <p>・各部署研修(随時)</p> <p>・NEWSレターになどによる情報発信 「感染対策室NEWS」6回発行、インフルエンザ情報を院内グループウェアで配信した。</p> <p>○職業感染対策</p> <p>職員ワクチン接種プログラムに基づきワクチン接種を実施した。</p> <p>・HBワクチン接種</p> <p>・小児科ウィルスワクチン接種</p> <p>・インフルエンザワクチン接種</p> <p>○院内ラウンド(巡視)</p> <p>定期的ラウンドのほか、感染経路別予防策のためのチェックラウンドを実施した。</p> <p>○環境清掃強化</p> <p>胃腸炎流行期に環境清掃の強化として清掃業者によるトイレ周辺環境と手すり、ドアノブの次亜塩素酸ナトリウム消毒を実施。</p> <p>○感染状況、対策活動評価を行う「感染対策委員会」を定期(月1回)開催、感染防止対策の体制整備を図った。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果
		III			IV			III

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-1-2 患者・住民サービスの向上

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																													
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																																																																																											
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																																																																																																												
<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>項目番号 09</p> <p>・他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p>	<p>○外来待ち時間対策</p> <p>・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。</p> <p>① 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。</p> <p>② 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。</p> <p>③ 入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。</p> <p>④ 病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底した。</p> <p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>27.47 分</td> <td>22.73 分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※患者満足度調査（アンケート）結果</p> <p>・待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。</p> <p>① 待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけるよう便宜を図っている。</p> <p>② 診療科に即したパンフレットや図書を配置</p> <p>・待ち時間調査の実施</p> <p>患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施（10/6）するとともに、システムによる待ち時間の把握を年 4 回行い、状況の把握に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>～30 分</th> <th>30～2 時間</th> <th>2 時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23.8 月</td> <td>40.1%</td> <td>54.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H24.1 月</td> <td>51.9%</td> <td>42.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※23 年度中における待ち時間の解消</p> <p>30 分以内：+11.8 ポイントの改善</p> <p>30 分～2 時間：-12 ポイントの改善</p> <p>・計算支払い窓口の増設</p> <p>診療費の支払い待ち時間の短縮のため、支払窓口を増設した。（2 窓口→3 窓口）</p> <p>○臨床検査部門</p> <p>・技師の増員配置</p> <p>H22：5.5 名 → H23：6.5 名</p>		H22	H23	平均待ち時間	27.47 分	22.73 分	待ち時間	～30 分	30～2 時間	2 時間～	H23.8 月	40.1%	54.8%	5.3%	H24.1 月	51.9%	42.8%	5.3%	IV	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>項目番号 09</p> <p>・新病棟建設工事(二期工事)の完了により駐車場が整備され駐車台数が大幅に増加した。また、駐車場の整備を機に、利用者から受益者として管理に必要な経費を負担してもらうことを目的に駐車場の有料化を実施する。駐車場の効率的な運用により、周辺道路の渋滞を緩和させ、駐車場進入時の待ち時間縮減を目指す。</p> <p>・患者の利便性向上、身体的負担の軽減を目的に中央診療棟・東病棟において、内視鏡室及び中央採血室の移転改修工事、外来点滴センターの新設工事を実施する。工事完了後は、効率的な運営により検査や処置の待ち時間を改善する。</p> <p>・外来待ち時間調査を年 2 回程度実施して、外来患者の待ち時間を把握し、予約枠の見直しや予約受付の改善に努める。また、連携する医療機関からの予約検査（CT、MRI、RI、PET/CT ほか）の改善にも努める。</p>	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>・平成 23 年 4 月 1 日から外来駐車場を有料化したことにより、無断駐車が一掃され、駐車場の効率的運用が可能になった。駐車場入庫に係る待ち時間が解消し、患者の利便性が向上した。</p> <p>・平成 22 年度の新病棟完成により使用されなくなった空きスペースを有効活用し、7 月に内視鏡室を移転、外来点滴センターを新設、さらに 10 月には内視鏡室移転跡地に中央採血室を、12 月には中央採血室跡地に救急外来受付を移転し、診療効率の向上を図った。</p> <p>施設整備の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修前</th> <th>面積</th> <th>改修後</th> <th>改修理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央診療棟 1 階 薬学部・化学療法室</td> <td>477.71</td> <td>内視鏡室 外来点滴センター(新設)</td> <td>・患者様のプライバシー保護 ・検査後のカビ対策確保 ・業務環境の改善等 ・各診療科の処置用ベッドの不足 ・各診療科の点滴を集約して実施し効率的に管理</td> </tr> <tr> <td>東病棟 1 階 内視鏡室</td> <td>126.00</td> <td>中央採血室</td> <td>・採血ベッドの拡充 ・専用の採血室の確保</td> </tr> <tr> <td>東病棟 1 階 中央採血室</td> <td>35.61</td> <td>救急外来受付</td> <td>・中待合の解消 ・救急患者搬送時の患者待合の導線の分離</td> </tr> </tbody> </table> <p>・待ち時間調査を 4 回（診療待ち時間調査 3 回、検査待ち時間調査 1 回）実施したが、検査待ち時間については、問題視されるような状況は認められなかった。一部の診療科で 30 分以上の診療待ち時間が発生しているが、医師事務作業補助者の活用等により少しでも時間短縮できるように努めていく。</p> <p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均待ち時間</td> <td>24 分</td> <td>23 分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時間からの遅延時間平均</p> <p>・高精度放射線治療センターの建設については、建</p>	改修前	面積	改修後	改修理由	中央診療棟 1 階 薬学部・化学療法室	477.71	内視鏡室 外来点滴センター(新設)	・患者様のプライバシー保護 ・検査後のカビ対策確保 ・業務環境の改善等 ・各診療科の処置用ベッドの不足 ・各診療科の点滴を集約して実施し効率的に管理	東病棟 1 階 内視鏡室	126.00	中央採血室	・採血ベッドの拡充 ・専用の採血室の確保	東病棟 1 階 中央採血室	35.61	救急外来受付	・中待合の解消 ・救急患者搬送時の患者待合の導線の分離		H22	H23	平均待ち時間	24 分	23 分	III	<p>(1) 待ち時間の改善等</p> <p>項目番号 09</p> <p>待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。</p> <p>○外来診療待ち時間調査（H23.6 実施）</p> <p>・初診患者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H23</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>46</td> <td>80</td> <td>46</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>30～60 分</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>7</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>60～90 分</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>90 分以上</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>57</td> <td>100</td> <td>54</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・再診患者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">H21</th> <th colspan="2">H23</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>246</td> <td>82</td> <td>142</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>30～60 分</td> <td>43</td> <td>14</td> <td>34</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>60～90 分</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>25</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>90 分以上</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>300</td> <td>100</td> <td>205</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>再診患者の「待ち時間なし」が H21 年度調査時よりも減少し待ち時間が増加傾向である実態を把握した。予約診療の徹底により 1 人あたりの診療時間が長くなっていることや救急対応による診療の中断などが原因と考えられる。</p> <p>○待ち時間対策</p> <p>・診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況の情報を提供</p> <p>・看護師による待合室の巡回（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める）</p> <p>・小児科外来は図書コーナーを設置</p>	待ち時間	H21		H23		人数	%	人数	%	なし	46	80	46	85	30～60 分	10	18	7	13	60～90 分	1	2	1	2	90 分以上	0	0	0	0	合計	57	100	54	100	待ち時間	H21		H23		人数	%	人数	%	なし	246	82	142	69	30～60 分	43	14	34	17	60～90 分	8	3	25	12	90 分以上	3	1	4	2	合計	300	100	205	100	III
	H22	H23																																																																																																																	
平均待ち時間	27.47 分	22.73 分																																																																																																																	
待ち時間	～30 分	30～2 時間	2 時間～																																																																																																																
H23.8 月	40.1%	54.8%	5.3%																																																																																																																
H24.1 月	51.9%	42.8%	5.3%																																																																																																																
改修前	面積	改修後	改修理由																																																																																																																
中央診療棟 1 階 薬学部・化学療法室	477.71	内視鏡室 外来点滴センター(新設)	・患者様のプライバシー保護 ・検査後のカビ対策確保 ・業務環境の改善等 ・各診療科の処置用ベッドの不足 ・各診療科の点滴を集約して実施し効率的に管理																																																																																																																
東病棟 1 階 内視鏡室	126.00	中央採血室	・採血ベッドの拡充 ・専用の採血室の確保																																																																																																																
東病棟 1 階 中央採血室	35.61	救急外来受付	・中待合の解消 ・救急患者搬送時の患者待合の導線の分離																																																																																																																
	H22	H23																																																																																																																	
平均待ち時間	24 分	23 分																																																																																																																	
待ち時間	H21		H23																																																																																																																
	人数	%	人数	%																																																																																																															
なし	46	80	46	85																																																																																																															
30～60 分	10	18	7	13																																																																																																															
60～90 分	1	2	1	2																																																																																																															
90 分以上	0	0	0	0																																																																																																															
合計	57	100	54	100																																																																																																															
待ち時間	H21		H23																																																																																																																
	人数	%	人数	%																																																																																																															
なし	246	82	142	69																																																																																																															
30～60 分	43	14	34	17																																																																																																															
60～90 分	8	3	25	12																																																																																																															
90 分以上	3	1	4	2																																																																																																															
合計	300	100	205	100																																																																																																															

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																									
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																								
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																							
	<p>・検査予約枠の変更 乳腺エコーを始め、各検査予約枠の増設を行い、稼働率の向上を図ることとした。</p> <p>・稼働率向上による超音波検査件数の増 H22 : 11,091 件 → H23 : 13,287 件 (19.8%増)</p> <p>超音波検査待ち時間の短縮</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60分 未満</th> <th>～90 分</th> <th>90分 超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22.4</td> <td>1,208 件</td> <td>97.4%</td> <td>2.3%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>H23.4</td> <td>1,292 件</td> <td>98.6%</td> <td>1.3%</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・採血室：採血開始時間を業務開始前に繰り上げる ことによる待ち時間の解消。</p> <p>○中央放射線部門</p> <p>・CT検査予約枠変更 CT検査を、2台の装置毎に検査内容で振り分ける 予約枠に変更し、より有効的な運用による待ち日 数の短縮を図る。</p> <p>・MR検査数増加への対応 検査待ち日数解消のため、業務開始時間前及び土 曜日午前の予約検査の実施により、待ち日数の短縮 を図るも、稼働時間拡大効果よりも検査依頼数増加 の結果、待ち日数が伸びた。</p> <p>検査件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MR 外来</th> <th>MR 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 1</td> <td>19,236</td> <td>4,856</td> <td>6,973</td> <td>1,440</td> </tr> <tr> <td>H 2 2</td> <td>21,798</td> <td>5,514</td> <td>7,412</td> <td>1,663</td> </tr> <tr> <td>H 2 3</td> <td>22,636</td> <td>5,841</td> <td>7,994</td> <td>1,693</td> </tr> </tbody> </table> <p>・検査待ち日数 (CT) H21 : 14 日→H22 : 10 日 →H23:7 日 (MR) H21 : 21 日→H22 : 17 日 →H23:21 日</p> <p>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用及び麻酔 科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術 待ち時間を短縮できた。</p> <p>時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>55.2%</td> <td>56.9%</td> </tr> <tr> <td>件 数</td> <td>5,407 件</td> <td>5,614 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・総合麻酔センターの設置による麻 酔部の強化に併せ手術室の運用(手 術枠管理)の改善等により、平成2 2年度は手術件数が増加(H21年 度：5,050件→H23.2末：4, 914件)。引き続き手術枠等の効 率的な運用により、手術待ち時間の 改善に向けた取り組みを行う。</p>		総数	60分 未満	～90 分	90分 超	H22.4	1,208 件	97.4%	2.3%	0.3%	H23.4	1,292 件	98.6%	1.3%	0.1%		CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院	H 2 1	19,236	4,856	6,973	1,440	H 2 2	21,798	5,514	7,412	1,663	H 2 3	22,636	5,841	7,994	1,693		H 2 2	H 2 3	稼働率	55.2%	56.9%	件 数	5,407 件	5,614 件	自己 評価	<p>・既存施設の老朽化、放射線治療 に係る待ち時間短縮のため、平成 24年秋の稼働を目指し、新たに 高精度放射線治療器の導入を計 画している。今年度は導入に向け て、新たに放射線治療棟を建設整 備する。</p> <p>・医療連携を充実させることで、 二次医療病院である当院の診療 体制や機能について、地域の医療 機関や住民に周知し、効率的な診 療を目指す。</p> <p>・CT、MRIなどの画像診断に ついては、引き続き放射線部のス キルアップを図るとともに、検査 内容を検証することで、検査件数 の増加を図る。</p> <p>・手術については、看護師の増員 と業務委託などにより手術室の 回転率を向上させる。(午前中の 手術の増加、空き時間の活用)</p>	自己 評価	<p>設工期が延長となったが、当初の予定どおり平成2 4年秋の稼働に向けた準備を整えることができた。</p> <p>・紹介率の向上と逆紹介を円滑に進め、外来縮小を 図るため、地域医療連携センターを中心に開業医訪 問を実施した。訪問活動で収集した情報を基に外来 患者向けに「登録医紹介コーナー」を設置した。ま た、ホームページ上でも登録医の紹介を行い、患者 へのPRを行った。</p> <p>・診療放射線技師をCT、MRIなどの画像診断検 査に関する学会、研究会、講演会に積極的に参加さ せ、スキルアップを図った。</p> <p>・医療連携に基づく検査依頼については一部電話予 約(CT、MRI)を可能としたほか、当日枠の運 用など、検査依頼にかかる待ち時間の縮減を図つ た。</p> <p>CT、MRI検査件数の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>24,319 件</td> <td>25,234 件</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>7,640 件</td> <td>7,919 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・手術については午前手術枠を増加したことによ り、内視鏡検査についても内視鏡室の整備によりそ れぞれ待ち時間を改善した。</p> <p>総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H 2 2</th> <th>H 2 3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,595 件</td> <td>4,593 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医師事務作業補助を増員し、医師の事務作業の軽 減、円滑な外来診療の推進を図った。</p>	区分\年度	H 2 2	H 2 3	CT件数	24,319 件	25,234 件	MRI件数	7,640 件	7,919 件	H 2 2	H 2 3	4,595 件	4,593 件	自己 評価
	総数	60分 未満	～90 分	90分 超																																																											
H22.4	1,208 件	97.4%	2.3%	0.3%																																																											
H23.4	1,292 件	98.6%	1.3%	0.1%																																																											
	CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院																																																											
H 2 1	19,236	4,856	6,973	1,440																																																											
H 2 2	21,798	5,514	7,412	1,663																																																											
H 2 3	22,636	5,841	7,994	1,693																																																											
	H 2 2	H 2 3																																																													
稼働率	55.2%	56.9%																																																													
件 数	5,407 件	5,614 件																																																													
区分\年度	H 2 2	H 2 3																																																													
CT件数	24,319 件	25,234 件																																																													
MRI件数	7,640 件	7,919 件																																																													
H 2 2	H 2 3																																																														
4,595 件	4,593 件																																																														
◎特筆すべき点・進捗状況評価に 関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に 関する意見・その他コメント	H22 検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に 関する意見・その他コメント	H22 検証 結果																																																										
	IV		III		III																																																										

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院							
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価						
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価					
<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号 10</p> <p>・患者や来院者により快適な環境を提供するため、進行中の改修工事、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。</p> <p>・治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好に配慮した選択メニューを拡充するため、患者サービス満足度調査を実施し、病院給食の改善を図る。</p>	<p>・外来患者等利用者用駐車場の整備完了後、受診目的外での無断駐車や長時間駐車、長期間にわたる違法駐車を解消させるため、平成23年5月から駐車場の有料化を実施し、利用者が支障なく駐車できるようにした。</p> <p>・平成23年度嗜好調査を実施した。その結果を日々の給食管理に反映した。 調査内容：食欲、主・副食の状況（喫食状況、残さの理由、炊き方・味付け、味、種類等）、満足度、自由意見等 実施日：平成24年1月25日 対象者：一般食患者 115人（回答68人） 特別食患者 85人（回答49人）</p> <p>・特別な対策の実例 平成24年3月より、化学療法食の見直し・充実を図り、食欲不振患者に好評を得ている。（主食にだし茶漬けや焼きそば・あげ寿司などの種類を増加、汁・煮物等の日替わり化、小付けの充実等行った。）</p>	III	<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号 10</p> <p>・駐車場については、新設整備による駐車台数の大幅な増加、無断駐車防止を目的とした有料化の実施、駐車場案内スタッフの配置により、駐車場進入時の待ち時間の短縮等、利用者の利便性向上を図る。</p> <p>・無停電電源装置更新工事により情報ネットワークにつながっている電子カルテシステム及び個別医療情報システム等が、停電時においても停止しない環境を整備する。</p> <p>・患者のプライバシー保護に配慮した院内環境の充実を図る。 ・病棟については、入院患者の意見等も参考にしながら快適な療養環境を提供するよう努める。</p> <p>・治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、献立の見直しや食種の見直しを行う。さらには個人対応食の充実、喫食量の低下した患者への個別の聞き取りを継続的に行い、より細かな食事を提供できるよう食事の充実を図る。</p>	<p>(2) 院内環境の快適性向上</p> <p>・ 駐車場有料化に伴い2名の女性案内スタッフを午前中に配置し、車椅子利用者の介添え、駐車料金精算機の利用案内等、患者サービスの向上に努めた。</p> <p>・ 無停電電源装置の更新工事が完了し、電子カルテシステム及び個別医療情報システム等が災害などによる停電時においてもシステムダウンしない環境を整備した。（平成24年度には、無停電電源装置自体が故障した場合の対策を講じる。）</p> <p>・ 新病棟完成に伴う空きスペースを活用した内視鏡室等整備工事を完了し、患者のプライバシー保護、利便性が向上した。</p> <p>・ 外来の女性用トイレに凝音装置を設置した。</p> <p>・ 中病棟2Fに情報コーナーを開設し、病院利用者に対する本の貸出しやインターネット利用を開始した。</p> <p>・ 院内ギャラリーを開設し、病院利用者に対する癒しの環境整備を図った。</p> <p>・ 喫食調査、残菜調査、検食記録などの結果から、献立の見直しを行い、料理の種類を増やした。（18種→30種）</p> <p>・ 喫食量の低下した患者への個別の聞き取りに努めた。（前年比1.8倍の月平均73件に増加）</p> <p>・ 食事調整後は個人対応食とし、より細かな食事の提供に努めた。</p> <p>・ NST介入数は昨年比2.4倍となり、栄養不良の患者に対する栄養管理を強化した。</p>	III	<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号 10</p> <p>患者からの環境改善要求については、可能な限り改善に努めるとともに、患者のプライバシーとアメニティの確保に配慮した快適な院内環境の整備を行う。</p> <p>また、治療効果を上げるため、栄養管理の向上及び患者の病態に応じた個別対応食の促進に努める。</p> <p>◆病室テレビのデジアナ化工事 高齢者の入院患者が多く、地デジ化されてからテレビ機器の操作に関する不満・苦情（操作方法が分からない）が多く発生していたため、地上波デジタル電波のアナログ化工事を実施。テレビ機器操作を簡単にし、入院患者の不満の解消を図った。</p> <p>◆患者サービス向上委員会が主体となって正面玄関前の花飾りを行い、院内環境の向上に努めた。</p> <p>◆個別の栄養管理のために「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について患者訪問を実施。患者に食事内容をより理解していただくと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。</p> <p>(個別食対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養管理計画書作成件数</td> <td>2, 377件</td> <td>4, 464件</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	栄養管理計画書作成件数	2, 377件	4, 464件	III
	H22	H23											
栄養管理計画書作成件数	2, 377件	4, 464件											
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	III	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	I22 検証 結果	III					

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <p>項目番号 11</p> <p>情報の取り扱いに対する研修会、講演会を開催し、個人の診療情報やその他情報の取り扱いに対する教育を行う。これにより、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を向上させる。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年10月3日に、職員を対象とした個人情報保護に関する研修を、外部講師を招いて実施した。 院内に勤務する派遣職員に対する研修の中で、個人情報の取り扱いに関する項目を設け、個人情報保護担当職員による説明を行った。 患者本人又は家族からの請求により、59 件の個人情報を開示した。 	III	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <p>項目番号 11</p> <ul style="list-style-type: none"> 転院や在宅の調整、緩和ケアの受け入れ等、医療連携室との連携が必要不可欠であることから、医療連携、退院調整及び医療相談部門を統合し、地域医療連携を総合的に担う「地域医療連携センター」を設置する。 医療相談室と医療連携室との連携を強化し、医療情報や退院調整に関わる情報の共有化を図るとともに、MSW等スタッフを充実することで、相談業務の効率化につなげる。 	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携室、医療相談室、退院調整を一体化した「地域医療連携センター」を設立し、相互の連携を強化することにより、紹介患者の受け入れ、入院の早い段階での医療相談、退院後のかかりつけ医への逆紹介、転院調整、在宅医療の支援などを円滑に推進する体制を整えた。(前方支援、後方支援の充実) 社会福祉士 (MSW) を2名増員し、円滑な相談業務の推進を図った。 がん患者サロンを開設し、がん患者及びその家族に対しての相談を行っている。 	III	<p>(3) 医療情報に関する相談体制の整備</p> <p>項目番号 11</p> <p>苦情等へ迅速な対応ができる組織体制を整備する。</p> <p>また、接遇研修会を開催するなど職員の接遇意識向上にも努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆医療情報に関する相談・苦情ついて、問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行える体制の確立に努めた。 ◆全職員を対象に「接遇マナーチェック」を実施。 ・身だしなみ ・態度、表情、行動 ・電話対応 <p>について、接遇の改善を図った。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		
III			III			III		
<p>(4) 患者の視点に立ったより良い医療の提供</p> <p>項目番号 12</p> <p>Humanity (人間性を大切にしたい) に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本館1階ロビーに、患者の権利、個人情報保護に関する方針を掲示し、同内容を病院ホームページにも掲載した。 外部先進病院から講師を招へいし、医療安全に関する研修を実施した。 <p>タイトル：「医薬品使用時の安全管理～アナタの常識はワタシの常識ではない～」</p> <p>開催時期：平成23年5月</p> <p>参加者数：215名</p>	IV	<p>(4) 患者中心の医療の提供</p> <p>項目番号 12</p> <ul style="list-style-type: none"> 「安全で、やさしく、あたたかい医療に努めます」という病院の基本理念のもと、常に患者の視点に立った医療の提供を心がける。 治療方法の自己決定の尊重、セカンドオピニオンに対応するなど患者自身による治療の選択肢の確保を図る。 	<p>(4) 患者中心の医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本理念や患者さんの権利と責務について、職員手帳に記載し、全職員に対して配布した。 リスボン宣言に基づいた患者さんの権利と責務について、院内各部署への掲示や、ホームページへの掲載により、患者や職員に周知し、患者の自己決定権を尊重した。 	III	<p>(4) 患者中心の医療の提供</p> <p>項目番号 12</p> <p>患者の権利 (安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど) の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。</p> <p>また、カルテ等の医療情報の情報開示については、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて適切に対応する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆名札の裏面に「患者さんの権利」を印刷し、医療者・病院職員としての倫理観の確立に努めた。 ◆カルテ等の医療情報開示は、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて適切に対応した。 	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		
III			III			III		

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																								
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価	H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			自己評価																		
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項					業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項					業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																					
<p>(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <p>項目番号 13</p> <p>必要な情報を患者が理解できる言葉で提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を決定できるようインフォームド・コンセントを徹底し、患者等が検査や治療を受けるにあたり、より良い判断をするために、主治医以外の専門医に意見やアドバイスを求めた場合に適切に対応できるように取り組むことで、セカンドオピニオンの推進を図る。</p>	<p>セカンドオピニオン実施件数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H21</td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>外来受入</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>52</td> <td>64</td> <td>41</td> </tr> </table>				H21	H22	H23	外来受入	18	21	21	他院紹介	52	64	41	III	<p>(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進</p> <p>項目番号 13</p> <p>・治療に必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を選択できるようインフォームド・コンセントを徹底する。</p> <p>・セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに案内掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応する。がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。</p>	<p>(5) インフォームド・コンセント・セカンドオピニオンの徹底</p> <p>・インフォームド・コンセントの意義を職員に周知徹底するため、メディエーションをテーマとした医療安全研修会を実施した。研修会欠席者に対しても、研修会の内容を録画して伝達した。</p> <p><u>研修実施日：24年2月2日</u></p> <p>・セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに案内掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として一元的に対応した。がんの種類別に医師を選任し、相談に応じた。また、大学病院やがんセンターでのセカンドオピニオンについても患者さんの自己決定権を尊重して受診先を紹介した。</p>	III	<p>(5) インフォームド・コンセント・セカンドオピニオンの徹底</p> <p>項目番号 13</p> <p>患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームド・コンセント・セカンドオピニオンを徹底する。</p>	<p>患者・その家族には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドオピニオン制度の説明により治療方法を選択する機会を提供 ・入院時の入院診療計画の提示 ・手術や検査の事前説明を行い、説明と同意に基づく治療の推進を徹底した。 	III										
					H21	H22	H23																									
外来受入	18	21	21																													
他院紹介	52	64	41																													
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>外来受入</td> <td>5件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>48件</td> <td>74件</td> </tr> </table>				H22	H23	外来受入	5件	11件	他院紹介	48件	74件	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>外来受入</td> <td>5件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>48件</td> <td>74件</td> </tr> </table>				H22	H23	外来受入	5件	11件	他院紹介	48件	74件	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H22</td> <td>H23</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>6件</td> <td>7件</td> </tr> </table>				H22	H23	他院紹介	6件	7件
	H22	H23																														
外来受入	5件	11件																														
他院紹介	48件	74件																														
	H22	H23																														
外来受入	5件	11件																														
他院紹介	48件	74件																														
	H22	H23																														
他院紹介	6件	7件																														
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証結果																		
				III					III					III																		
<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>項目番号 14</p> <p>運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。</p>	<p>・岐阜県総合医療センター運営協議会を開催し、地域の代表者等と意見交流を図り、病院運営に反映した。</p> <p>委員：地元自治会、青年団、老人クラブ、教育関係者、医師会、社会福祉協議会、経営者、保健所、消防署の代表者で構成</p> <p>開催：平成23年10月、24年3月</p> <p>主な議題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県総合医療センターの概要、運営状況(収支)、新棟整備計画について ・法人関係新聞報道記事等について <p>・随時近隣住民からの意見・苦情については適正かつ速やかに対応した。</p>			III	<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>項目番号 14</p> <p>・地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を定期的に開催し、地域住民のニーズを把握し、病院運営に反映させる。昨年度に引き続き年1回以上開催し、意見、要望の収集に努める。</p> <p>・外来及び入院患者を対象とした「患者満足度調査」を実施する。(年1～2回)</p>	<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>・地域住民や医療・福祉関係団体の代表者等で構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、意見交換を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>H24.2.6 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高精度放射線治療システムの導入について ・精神科病棟の開設(再開)について ・災害時における医療の確保について ・各種イベント等の開催について </div> <p>・入院患者、外来患者を対象に患者満足度調査を実施し、病院運営の問題点の把握に努めた。</p> <p><u>実施日：1月26日(外来)、27日(入院)</u></p>	III	<p>(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映</p> <p>項目番号 14</p> <p>患者や周辺住民を対象とした病院満足度調査を実施するとともに、その結果を病院運営に反映させる。</p>	<p>◆患者満足度調査</p> <p>退院時アンケート調査を2回実施(6月・10月：各1ヶ月間)</p> <p>対象患者： 6月190名 10月170名</p> <p>調査結果は接遇委員会が中心となって検討を行い、各部署の課題を改善するように努めた。</p> <p>◆地域住民との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェックやアロマによるハンドマッサージを行い、地域の人々との交流に努めた。 23年度 2回実施(約160人参加) ・「龍神火祭り」への参加 病院職員が御輿の担ぎ手として参加し、地域の方々と病院職員の交流に努めた。 開催日：7/31、8/1 参加人数：15名 <p>◆院内に設置してある「ふれあいボックス」に投函された意見に対して患者サービス向上委員会を中心に改善に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院職員の態度や言葉遣いに関する意見 8件 	III																						
											◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント				H22 検証結果							
				III					III					III																		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																	
H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H23 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																																															
<p>(7) 患者支援システム(メタボリックシンドローム予防センター)の創設</p> <p>項目番号 15</p> <p>平成21年度に設置したメタボリックシンドローム予防センター部は、①生活指導教室、②専門外来(女性外来、禁煙外来)、③緩和医療、④スキンケア(ストーマ、褥瘡(じょくそう))・NST(栄養サポートチーム)、⑤看護外来により構成され、特にメタボ予防を目的とした「患者教育」を実施し再発防止に取り組む。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。</p>	<p>・メタボリックシンドローム予防センターを中心とした「患者教育」に重点をおいた生活習慣病の予防(患者支援システム)の構築を目指した。</p> <p>① メタボリック予防センター診療実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタボ外来</td> <td>370 人</td> <td>661 人</td> </tr> <tr> <td>メタボ看護外来</td> <td>178 人</td> <td>137 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 生活指導教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>72 人</td> <td>44 人</td> <td>87 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○肝臓病教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成23 年度</th> <th>11 月 : 10 人</th> <th>3 月 : 11 人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③専門外来</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>専門外来</th> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">女性外来</td> <td>初診</td> <td>118 人</td> <td>176 人</td> </tr> <tr> <td>再診</td> <td>1,001 人</td> <td>1,436 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">禁煙外来</td> <td>初診</td> <td>29 人</td> <td>64 人</td> </tr> <tr> <td>受診者</td> <td>105 人</td> <td>300 人</td> </tr> <tr> <td>禁煙成功</td> <td>10 人</td> <td>41 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>④褥瘡ケア 院内発生率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内発生率</td> <td>10 人</td> <td>9.4 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○NST 依頼件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>547 件</td> <td>1,486 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑤看護外来</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フットケア</td> <td>161 人</td> <td>172 人</td> </tr> <tr> <td>在宅指導</td> <td>345 人</td> <td>312 人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	メタボ外来	370 人	661 人	メタボ看護外来	178 人	137 人		H21	H22	H23	糖尿病教室	72 人	44 人	87 人	平成23 年度	11 月 : 10 人	3 月 : 11 人				専門外来		H22	H23	女性外来	初診	118 人	176 人	再診	1,001 人	1,436 人	禁煙外来	初診	29 人	64 人	受診者	105 人	300 人	禁煙成功	10 人	41 人		H22	H23	院内発生率	10 人	9.4 人	H22	H23	547 件	1,486 件		H22	H23	フットケア	161 人	172 人	在宅指導	345 人	312 人	IV						
	H22	H23																																																																					
メタボ外来	370 人	661 人																																																																					
メタボ看護外来	178 人	137 人																																																																					
	H21	H22	H23																																																																				
糖尿病教室	72 人	44 人	87 人																																																																				
平成23 年度	11 月 : 10 人	3 月 : 11 人																																																																					
専門外来		H22	H23																																																																				
女性外来	初診	118 人	176 人																																																																				
	再診	1,001 人	1,436 人																																																																				
禁煙外来	初診	29 人	64 人																																																																				
	受診者	105 人	300 人																																																																				
	禁煙成功	10 人	41 人																																																																				
	H22	H23																																																																					
院内発生率	10 人	9.4 人																																																																					
H22	H23																																																																						
547 件	1,486 件																																																																						
	H22	H23																																																																					
フットケア	161 人	172 人																																																																					
在宅指導	345 人	312 人																																																																					
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		H22 検証 結果 III																																																																					